

ごあいさつ

長崎市では、第4次総合計画において、目指す10年後の都市像を「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」と定めています。国際社会の中で長崎ならではの価値を世界へ発信するとともに、長崎にしかできない役割を果たし、世界に貢献することで世界の長崎として存在感のある都市を目指しています。

今回、次代を担う長崎市の中学生から選出された30名が、韓国の釜山市、ソウル市で研修を行う長崎子どもゆめ体験事業に参加しました。本事業は、「地域の子どもたちのリーダーを育成する」「国際人へと成長する人材の育成を図る」「海外の子どもたちとの相互理解と友情の絆を深めよう」という3つの目的のもと実施されました。

韓国の研修では、事前の研修会で学んだ韓国語を用いながら、現地中学生と伝統的な遊びを行ったり、長崎の紹介を行ったりして笑顔で交流がなされたということをつらぬいての皆さんから聞きました。海外の人とふれあい、つながることができた瞬間だったのではないのでしょうか。未来の長崎で国際人として活躍する子どもたちに必要な力が、交流を行うなかで育成されたものと思います。

参加した団員の皆さんが、今後、現地で学んだこと、発見した事を地域のリーダーとして多くの人に発信してほしいと思います。そして、発信された内容が他の中学生にどんどん広まっていくことを期待しています。

今回作成されました、この報告書も、発信につながるものではないかと考えています。団員のみなさんが学んだことが多くの人に紹介され、また、生かされていくことを願っています。

最後に、今回の事業にご協力いただきましたすべての皆様に感謝を申し上げますとともに、これからも、このような若い世代の交流を継続してまいりたいと考えておりますので、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



平成25年12月
長崎市長 田上 富久

